



国家公務員共済組合連合会

佐世保共済病院 広報誌

きょうさいだより

Sasebo Kyosai Hospital Communication Paper

2017
vol.17
第3号



「また会う日を楽しみに」 撮影：情報システム課 相良利博

INDEX

- ごあいさつ 副院長 岡 尚記 ①
- 予約センター・退院支援センター開設のお知らせ
- 健康教室『学ぼう 身近な医学』開催のお知らせ ②
- 治療食試食会のお知らせ
- 診療活動の現況 ― 眼科 ― ③ ④
- 市民公開講座開催報告 ⑤
- 初期臨床研修を終えて
- 地域医療連携室より ⑥
- 授乳室リニューアルのお知らせ
- 編集後記
- 外来診療担当表 ⑦

患者さんの権利

人格、価値観を尊重する権利

1. だれもが、個人として常にその人格、価値観を尊重される権利があります。

良質な医療を公平に受ける権利

2. だれでも、どのような病気にかかった場合でも良質な医療を公平に受ける権利があります。

説明を受ける権利

3. 自分が受ける治療や検査の効果や危険性、他の治療方法の有無などについて、理解できるまで説明を受ける権利があります。

自分の意見を表明し、自ら決定する権利

4. 十分な情報を得て、自分の治療計画を立てる過程に参加し、自分の意見を表明し、自ら決定する権利があります。

医療について知る権利・カルテ開示の請求する権利

5. 自分が受けている医療について知る権利があります。また、明確な要求に基づき情報を知らされない権利もあります。当院の定めるところの形式に従い、カルテ開示の請求が行えます。

第三者に開示されない権利

6. 自分の個人情報を承諾または法律上の根拠なくして第三者に開示されない権利があります。

他の医療機関への紹介を受ける権利

7. 他の医師の意見を求めたい場合は、他の医療機関への紹介を受ける権利があります。

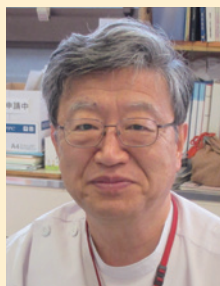
〒857-8575 長崎県佐世保市島地町10番17号 TEL0956-22-5136(代)

紹介受付専用FAX(医療連携室) 0120-12-2067 HP <http://www.kkr.sasebo.nagasaki.jp>

急患室直通FAX ☎0956-22-6052 (代)FAX0956-25-0662 ※休日・夜間のご連絡は、急患室直通的番号でご連絡下さい。

ごあいさつ

副院長 ^{おか} 岡 ^{しょうき} 尚記



線状降水帯による豪雨で、平成 29 年 7 月九州北部豪雨を始めとして全国で大きな被害が出ております。地球温暖化の影響でしょうか、最近では異常気象で、当地でも猛暑が続き、突然の雷・大雨等が出現するなど、心配な状況が続いています。

我が国が直面している大きな問題の一つに少子化があります。安心して産み育てることに対する不安が一つの原因であるとも言われております。当院でも、このことに対して地域の皆様に役にたてるように、小児科において7月よりわずか3床ではありますが、新生児特定集中治療室（NICU）の認定を受けることになりました。当地区では佐世保市総合医療センター小児科が新生児医療の中心ですが、その機能を補完する施設として、小児科スタッフ一同、今後尚一層頑張っていきます。

地方における医師不足は全国的課題であります。当院も残念ながらこの問題を抱えています。しかし、精一杯医師一人一人が持てる力を発揮できるよう、協力しながら頑張っています。当院は、地域の皆様に選ばれる病院になるよう、日夜全職員一丸となって努力を積み重ねていきますので、今後ともご支援よろしくお願い致します。

予約センター・退院支援センター開設のお知らせ

医療連携室課長 ^{もり} 森 ^{ひろき} 博紀

当院では一部の診療科のみ事前予約を行ってまいりましたが、さらなる病病・病診連携の強化を図るため、6月より紹介患者さん専用の「予約センター」を開設し、専用のフリーダイヤル（0120-12-0708）にて受付を行っております（放射線科、歯科口腔外科、ペインクリニック麻酔科は直接外来で対応）。事前に患者登録、カルテの作成、診療時間枠の確保を行い、診療科によっては問診票を事前送付させて頂くことで一般患者との差別化を図り、スムーズな診療の流れを作ることを目的としています。ご紹介の際はぜひ予約センターをご利用ください。

退院支援センターにつきましても、予約センター同様6月に開設致しました。後方支援部門の強化を図るべく相談室完備のスペースを1階受付前に立ち上げ、退院支援看護師3名、医療ソーシャルワーカー3名を配置し、連携業務の機能分化と患者・スタッフ動線の改善を行いました。今後は「共済病院退院支援チーム」として患者さんのサポート、積極的な退院支援を行ってまいりますので連携医療機関皆様のご協力をお願いいたします。

医療連携室



前方支援スタッフ

前方支援

紹介受付窓口
予約センター

後方支援

退院支援センター



後方支援スタッフ

健康教室『学ぼう 身近な医学』開催のお知らせ

副院長 ^{いはら}井原 ^{つかさ}司

平成 29 年 10 月より、身近な病気や健康、福祉の話題等を医師や専門スタッフがわかりやすくお話する教室を始めます。

地域の皆様の健康維持・増進を目的として、医療、健康、福祉などに対する意識や知識向上に役立つ教室にしたいと考えています。

参加費は無料です。どなたでもご自由に参加できますので、気軽に8階大講堂にお越し下さい。

参加者の方からこんな話、話題が聞きたい、知りたいというテーマの希望がありましたら、当日スタッフにお話するか、質問表を用意いたしますのでお寄せ下さい。

毎月第2火曜日 午後2時から1時間程のお話です。

初回の『学ぼう 身近な医学 10月教室』は、嚥下障害（飲み込みの障害）についてです。

第1回目のお知らせ

- 日 時：平成29年**10月10日**（火） 午後2時から1時間程
- 場 所：佐世保共済病院 8 階講堂
- テーマ：**嚥下障害の診断と治療**
- 講 師：耳鼻咽喉科医師、管理栄養士、言語聴覚士
- 参加費：無料



治療食試食会のお知らせ

栄養科科长 ^{うちし}内橋 ^{ひとみ}斐都美

当院では、7月より栄養指導の一環としまして、外来患者さんご家族、入院患者さんのご家族に対し、当院の治療食（高血圧食、糖尿病食、心臓病食、脂質異常症食、慢性腎不全食）の試食ができるようになりました。栄養指導を受けられ、実際に味付けや量をご確認されるのに良い機会だと思います。ご参加されたい場合は佐世保共済病院栄養科へお問い合わせ下さい。

- 対象疾患：高血圧症・糖尿病・心臓病・脂質異常症・腎臓病・透析
- 対 象 者：当院外来患者さんとそのご家族、入院患者さんのご家族
- 場 所：栄養指導室（正面玄関前）
- 時 間 帯：平日（水・木・金）午前 11 時 45 分～午後 0 時 20 分
- 料 金：640 円／人
- お問い合わせ先：電話 0956-22-5136（内線 3200）

また、平成 28 年度より「がん」「摂食・嚥下機能低下」「低栄養」に対しても積極的に栄養指導を行っています。がん治療や化学療法などにより、食欲が低下された患者さんにとって「食べられないこと」は大きな悩みです。時期的にどうしても食べられない時もあると思いますが、当院では管理栄養士が患者さん個人の状態や嗜好に合わせて栄養指導・食事相談ができるように努めています。どうぞお気軽にご相談下さい。



眼 科
医長 原 潤

【はじめに】

眼科では、患者様の症状に合わせて視力、眼圧測定といった一般的な検査と診察を行います。その後、必要に応じて視野検査、造影検査など特殊な検査を行います。眼球、あるいはそのまわ

りで何が起きているのかを判断し治療を施すための検査です。医療機器の進歩に伴い以前に比べると目の状態を細かく把握することが可能になりました。未だに治療が困難な疾患もありますが、以前ならば失明していたような疾患でもなんとか視機能を温存できるようになったものもあります。当院では大学病院をはじめとした、他の医療機関との連携を持ちながらより適切な治療をめざしています。

【当科の紹介】

眼科外来は、医師2名、視能訓練士1名、看護師3名のスタッフで診療にあたっています。月曜日から金曜日までの午前是一般外来で、火曜日・水曜日・金曜日の午後は特殊検査やレーザー治療・注射治療・小手術を行っています。また、月曜日と木曜日の午後は白内障を中心とした手術室での手術を行っています。手術治療は主に入院で行い、年間約200人の入院患者の多くは65歳以上の高齢者です。手術症例は年間約200例ですが、そのほとんどが白内障手術です。

当科では様々な疾患の診療にあたっていますが、その中で主なものについて述べさせていただきます。

【結膜炎】

結膜（白目、まぶたの裏）の充血、眼脂、ときに掻痒感、眼痛を伴う疾患です。原因は細菌、ウイルス感染、アレルギーなどがありますが、その多くは点眼治療で治癒します。しかし、中にはいわゆる「流行り目」と呼ばれる流行性角結膜炎（アデノウイルス感染症）のように伝染性があり、強い炎症を起こすものもあり、治癒に時間がかかる場合があります。

【霰粒腫、麦粒腫】

いわゆる「ものもらい」のことです。原因は感染症である場合とそうでない場合がありますが、まず点眼薬、眼軟膏、内服薬で治療し、治癒しない場合は切開排膿を行うことがあります。切開する場合は当院ではほとんどが外来で行っています。

【ドライアイ】

「乾き目」のことです。角膜（黒目）に傷がついて眼痛、異物感を伴うことが多く、なかなか治らない疾患です。眼表面の涙液層の乱れによって起こるものと考えられています。近年、パソコンや携帯電話の使用過多など、生活様式の変化に伴い増加している疾患です。様々な点眼薬が開発されており、複数の点眼薬での治療が必要になることがありますが、それでも症状が治まらない場合は涙点プラグ挿入といった治療もあります。

【ぶどう膜炎】

虹彩、毛様体、脈絡膜（茶目とその周囲）の炎症のことです。半数以上は原因不明といわれていますが糖尿病の患者に多い傾向があります。また、ヘルペスをはじめとするウイルス感染やリュウマチなどの自己免疫疾患の患者に併発することが知られています。治療は原因によって様々ですが、炎症が強い場合はステロイド剤の内服、テノン嚢下注射といった治療を行うことがあります。

【白内障】

水晶体（レンズ）の濁りのことを云います。水晶体が濁ることによりかすみが生じ、進行すると羞明、複視を訴えることもあります。多くは老人性のもですが、中には外傷、糖尿病などの全身疾患、紫外線、放射線などの環境因子によるものがあり、比較的若いうちに発症する場合もあります。点眼治療もありますが、最終的には手術治療が必要になることが多いです。当院では主に入院で手術を行っています。

【緑内障】

白内障と名前が似ていますが全く異なる疾患です。目の中の圧力（眼圧）が視神経に加わることで、視神経障害を来す疾患です。初期の段階では自覚症状はなく、進行すると視野障害がでてきます。治療は初期の段階では点眼治療ですが、点眼治療のみで視野を維持できる場合もあり、早期発見が重要です。また、視野障害の進行を認める場合はレーザー治療や手術を行うことがあります。それでも視神経の機能が低下し失明する場合があります。このように初期の治療が大変重要であるため、健康診断での眼底検査では緑内障のスクリーニングが行われています。当院の健康診断でも時折緑内障と診断されるケースがあります。

【糖尿病網膜症】

糖尿病患者に起こる網膜（目の底）の疾患です。糖尿病に罹患してから10年前後で発症するといわれていますが、血糖コントロールが悪いとそれより早く発症することもあります。糖尿病の3大合併症のひとつで、発症すると治療することはありません。糖尿病は全身の血管の流れが悪くなりやすい疾患ですが、目の血管も例外ではなく網膜血管の流れが悪くなることがあります。網膜血管から出血を起こし網膜に栄養が行き渡らなくなると、組織の壊死（腐ること）を起こし、視機能が低下します。病状が進行すると失明することもある疾患です。病状に合わせてレーザー治療、抗VEGF剤の硝子体注射や硝子体手術を行います。当院では他科と連携し糖尿病患者の治療に努めており、レーザー治療、抗VEGF剤の硝子体注射、硝子体手術を行っています。

【加齢黄斑変性】

近年増加している疾患のひとつです。名前のように加齢とともに発症する疾患で、いくつかのタイプがあり類縁疾患もありますが、なかなか治療が難しい疾患です。目の底（網膜）の中心（黄斑部）に新生血管（病的な血管）が出来てそこから網膜の内

層、あるいはその外に出血を起こす疾患です。物を見る中心に出血するため、目標の中心が見えなくなり視力が低下します。原因不明の疾患ですが、抗VEGF薬（新生血管を抑制する注射薬）の治療が可能となり視機能の維持に大きく寄与するものとなっています。しかしながら、高額な治療費を要することや定期的に注射を続ける必要があり、まだまだ治療法も改善の必要があると思います。

【網膜剥離】

網膜に穴が開いて剥離を起こす裂孔原性網膜剥離が多いです。網膜に変性層（格子状変性など）があるため、そこから破れ目ができ網膜の下に硝子体（目の中のゲル状の組織）が入り込むことで網膜が剥がれた状態です。治療としては眼球の外側から当て物をあてる強膜バックリング術や硝子体を取り除き、目に中にガス、またはシリコンオイルを注入する硝子体手術があります。近視が強い人に起こりやすいですが、変性層の周囲にレーザー治療を施すことで網膜剥離の予防が可能です。当院では主に予防のためのレーザー治療を行っています。

【おわりに】

当院では他にも様々な疾患の治療を行っています。それぞれの疾患に対し治療の到達目標が異なり、治療を受ければ良くなるものばかりではありません。しかしながら、少しでも患者様のQOLの向上を目指してより良い治療を目指しています。



原医長（前列右）・大久保医員（前列左）と外来スタッフ

がん化学療法は、欧米では内科医（腫瘍内科医）が行うのが一般的となっています。日本においても、がん専門病院、等では内科医が行うようになりつつありますが、一般病院では未だ多忙な外科医が手術の傍らに行っている医療機関が多いようです。共済病院では、長崎県では初めてとなりますが、この4月より腫瘍内科を開設し、腫瘍内科医によるがん診療を開始致しました。そこで、今回の市民公開講座ではがんの中で罹患数が多い胃がん・大腸がんを取り上げ、腫瘍内科医の立場からこれらがんの化学療法に関する最新情報を分かり易く解説していただきました。また、最近のトレンドとして、がん患者の診療は医師だけでなく、看護師、薬剤師、栄養士、あるいはソーシャルワーカーといったメディカルスタッフと協同したチーム医療で臨んでいます。がんの治療は日進月歩で、最近はおブジーボ、等の高価な薬剤の話題を耳にされることも多いと思いますが、がんの治療にかかる医療費の高騰が問題になっており、実際、患者さんから医療費についての相談が増加しています。そこで、もう一つの話題としてがん治療における医療費の問題を取り上げ、この分野で活躍されているソーシャルワーカーから患者さんに役立つ耳寄りな情報を紹介していただきました。市民を対象とした講演会ですので、演者の方にはできるだけかみ砕いて平易な言葉で話していただくようお願いしていたのですが、「内容が難しくて、分かり辛かった」との後日談もいただきました。今後もできるだけ分かり易い講演を心がける所存ですが、話す側もかなり努力してはいますので、その辺りもご理解いただければ幸甚であります。



前回の市民公開講座の際に「広く案内してもらえれば参加したかったのに」といった投書をいただきましたので、この反省をもとに今回は従来とは違った広報を行いましたところ、病院 OB 以外の一般の方 90 名を含めた計 170 名という多数の方にご参加いただき、嬉しい悲鳴を上げた次第です。共済病院ではがんの化学療法を診療の一つの柱として位置づけおり、今後も「がんシリーズ」と銘打った市民公開講座を開催してゆく所存であります。できるだけ多くの方に知っていただけるような広報を心がけて参りますので、よろしくご参集の程、お願い申し上げます。

初期臨床研修を終えて

長崎大学病院初期臨床研修プログラムのたすきがけ協力病院として佐世保共済病院で昨年12月から約7ヶ月間お世話になりました。

当院は非常に研修しやすい環境の病院だと思います。指導医・上級医の先生方には親切に指導していただき、また各診療科の垣根が低く困ったことがあればすぐに相談することができます。また、メディカルスタッフの方々が非常に協力的であり、不慣れな場でも患者さんの診療に専念することができました。

当直は主に輪番日に行いましたが、感冒等の軽症の症例から救急車搬送を要する重症の症例まで様々な症例に遭遇します。日によっては寝る時間もないほど大変な日もありましたが、その分様々な症例の初療から診断、治療への流れを経験することができました。指導医・上級医の先生と一緒に考えながら検査のオーダーや治療を行うため、不安なく安心して研修することができました。

病院の隣には宿舎も完備しており、病院の裏は佐世保市の繁華街になっているため生活に困ることはありません。納涼会やボートフェスティバル等の仕事以外のイベントも多く、非常に楽しい生活を送ることができました。

最後になりましたが、当院での研修を通じて医師としての知識や経験を得ただけでなく色々な人との繋がりによって本当に人間として大きく成長でき、非常に充実した研修生活を送ることができました。お世話になった先生方、スタッフの方々、本当に有難うございました。



麻酔導入中の出口研修医

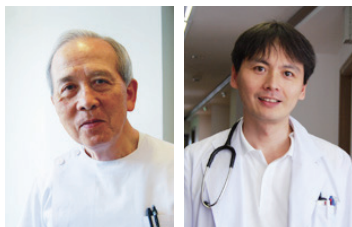


ボートフェスティバルにて

福田内科 胃腸科

〒857-0851 佐世保市稲荷町27-38 TEL 0956-32-6712

院長 福田 英彦 先生
副院長 福田英一郎 先生



院長 福田英彦 先生
副院長 福田英一郎 先生

福田内科 胃腸科は、福石観音横の国道沿いにあり、院長・福田英彦、副院長・福田英一郎の親子2人体制で現在診療させて頂いています。

父が現医院を建て替え開業してから35年になります。(その前は当地で祖父が開業しておりました)

当院では、糖尿病、高血圧症、脂質異常症、感冒、腹痛といった日常診療を行いつつ、病気の早期発見・早期治療にも取り組んでいます。

助かるべき方が、手遅れの状態になって治療開始されているのは大変残念なことだと思っています。二人とも消化器内科医であるため、胃カメラ・大腸カメラには特に力を注いでおり、安全で苦痛が少なく高い医療水準での検査を心掛けています。

また、幸福な人生をおくるために最も大事なものは

「健康」だと思われ、「元気で長生き」出来るよう動脈硬化や骨粗しょう症の予防にも取り組んでいます。

父・私とも佐世保市立総合病院(現 佐世保市総合医療センター)出身ということもあり、佐世保共済病院のことは詳しくなかったのですが、私が5年前から共済病院で内視鏡診断・治療にお邪魔させて頂くようになってから(昨年までは週一回、現在は隔週)、佐世保共済病院の各科には専門性の高い先生方がたくさんおられ、非常に質の高い医療を展開されているのを実際に目に触れることが出来ました。それなのに気さくな先生が多く、面識ある先生方には気軽にお声をかけて頂き感謝しています。また職員皆がやさしく、気持ち良いあいさつをしてくれることもあり、雰囲気の良い病院だと感じています。最近では内科、内視鏡部門が拡充しており、内科(消化器)開業医にとっては非常に助かっております。

これまでも各科の先生方には紹介を快く受け入れて頂きありがとうございます。今後ともよろしくお願い致します。

授乳室リニューアルのお知らせ

平成29年7月から、1階小児科外来前に新しい授乳室を開設しました。以前よりもスペースが広くなり、おむつ替えもできるベットの2台設置しています。ぜひお気軽にご利用下さい。



編集後記

世界陸上2017男子400mリレーでは銅メダルを獲得し、個々の力を越えた4人のチームワークによりもたらされた快挙に、日本中が感動しました。当院も、スタッフが互いに連携して、日々チーム一丸となり医療を提供しています。新しくスタートした治療食試食会や健康教室も、健康づくりにお役立て下さい。

編集委員 山口雅子



備考（東門公野・桂徴など）

科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考（専門分野・特徴など）	
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後		
腎臓内科	部 長	福成 健一	●						●				腎臓疾患・人工腎臓	
	医 長	金谷 晶子			●			●					腎臓疾患	
	医 員	池田 裕貴	●						●				腎臓疾患	
	〃	淡浪 由希					●				●		腎臓疾患	
循環器内科	部 長	金谷 誠司					●		●				循環器疾患	
	医 員	吉村 英恵	●						●				循環器疾患	
	非常勤医	田渕くみ子									●		循環器疾患	
	〃	横山 晋二					●						循環器疾患	
	〃	溝口ミノリ			●								循環器疾患	
	〃	熊埜御堂淳									●		循環器疾患	
呼吸器内科	〃	眞島 涼平	●		●								循環器疾患	
	非常勤医	柴原 大典									●		呼吸器疾患	
糖尿病内科	〃	榎津 愛実					●						呼吸器疾患	
	非常勤医	牟田 芳美						▲	▲				▲は第2・4週のみ診察を行います	
消化器内科	部 長	河野 健次			●		●						肝臓疾患	
	消化器病センター長	宿輪 三郎	●								●		消化器内科疾患	
	医 員	谷口 育洋					●						消化器内科疾患	
総合内科	部 長	小川 隆一			●				●		■		■：心身医療診察日	
腫瘍内科	院 長	井口 東郎					●						肺癌・胆道がん	
	医 員	二尾 健太	●				●				●		1. 消化器がん（食道がん・胃がん・大腸がん・肺癌・胆道がん・肝細胞がんなど）2. 乳がん、3. 原発不明癌、4. 肉腫（GIST・軟部肉腫）・その他	
	〃	篠原 雄大			●				●				消化器外科・肝胆膵外科・内視鏡下外科・一般外科	
外 科	副院長	井原 司					●		●				消化器外科・肝胆膵外科・内視鏡下外科・一般外科	
	乳腺外科部長	原田 洋			●								消化器外科・乳腺外科・一般外科	
	消化器外科部長	富崎 真一	●		●		●						消化器外科・内視鏡下外科・一般外科	
	肝胆膵外科部長	丸山祐一郎	●						●		●		消化器外科・肝胆膵外科・一般外科	
	医 長	高木 克明			●						●		消化器外科・肝胆膵外科・一般外科	
	医 員	緒方 傑					●		●		●		一般外科	
	非常勤医	川畑 方博					●						肝胆膵外科・消化器外科・一般外科	
	〃	武田 雄二							▲				呼吸器外科（▲は第1週のみ診察を行います）	
	乳腺外来				●		●				●		※乳癌検診は、10時までに受付を行って下さい（要予約）	
					緒方		原田				原田			
小 児 科	副院長	岡 尚記			●		●				●		小児アレルギー疾患、気管支喘息、小児一般	
	部 長	上玉利 彰	●		●				●				小児血液、小児がん、小児一般	
	アレルギーセンター長	合田 裕治	●		●		●		●		●		小児アレルギー疾患、食物アレルギー、小児一般、気管支喘息	
	医 長	村田 憲治	●				●				●		小児感染症、小児一般	
	アレルギーセンター顧問	濱崎 雄平							▲	▲			小児アレルギー疾患（▲は第3週のみ診察を行います）	
	乳 児 健 診				●								火曜 午後1時から診察開始 午後2時までに受付を行って下さい	
	慢 性 外 来						●						水曜 午後2時から診察開始	
脳神経外科	喘 息 外 来									●			木曜 午後2時から診察開始	
	部 長	山川 勇造		■				■	●			■	脳神経外科一般	
整形外科	医 長	尾藤 昭次	●		●		●			●			■は午後1時30分から診察開始 午後4時までに受付を行って下さい	
	顧問	萩原 博嗣								●			膝・股関節疾患、人工関節置換術、骨折、スポーツ障害、小児整形外科	
	部 長	水城 安尋			●		●				●		上肢の外科（肩肘手）、足部外科、スポーツ障害	
	医 長	内村 大輝			●				●		●		上肢の外科（肩肘手）、スポーツ障害 *11/3 まで休診	
	〃	烏山 和之	●		●				●				膝・股関節外科、リウマチ	
	医 員	上田 幸輝	●				●				●		膝・肩関節疾患、腫瘍	
	〃	伊東 孝浩	●				●		●				膝・股関節疾患	
	〃	松尾 拓			●		●		●				整形外科一般	
	〃	山名 真士	●								●		整形外科一般	
泌尿器科	診療部長	江口 二郎	※		●				●		●		尿路結石、尿路生殖器腫瘍、排尿障害、尿路感染	
	部 長	中村 貴生	※		●		●		●				※の第2・4週（江口）第1・3・5週（中村）が診察を行います	
	医 員	大坪亜紗斗	●				●				●		※江口医師は10/31 まで休診です	
産婦人科	部 長	鶴地 伸宏	●		■		●		●				産科・産産期医療、不妊症・内分泌疾患	
	〃	木下秀一郎			●		●		■		●		腹腔鏡下手術、更年期・婦人科疾患	
	医 員	二尾 愛	■		●				●		●		●：婦人科診療日 ■：産科診療日	
	〃	柿添 絵里	●		●		■				●			
	〃	中村友里恵	●				●		●		■			
眼 科	医 長	原 潤	●		●	※	●	※	●		●	※	白内障手術、緑内障手術、硝子体手術、翼状片手術、	
	医 員	大久保美佳	●		●	※	●	※	●		●	※	レーザー光凝固術	
※：火・水・金曜の午後は術前検査と特殊再来（要連絡）														※大久保医師は10/2 から休診です
耳鼻咽喉科	部 長	田浦 政彦	●						●		●		頭頸部腫瘍、嚥下障害、耳・鼻・咽喉頭などの手術	
	医 員	友延 孝理	●		●			●		●		●		
放射線科	部 長	野々下政昭	※検査・画像診断についてのお申し込み・お問合せは、外来までお電話下さい。										MRI、CT、RI、血管造影、超音波検査	
	医 長	梶原 寿浩												
	医 員	近末 智雅												
麻 酔 科	部 長	深野 拓	●		●						●		月～金午前ペイン・緩和ケア外来	
	医 長	木本 文子			●		●		●				月～金午後は手術麻酔	
	医 員	豊田 智美												
	非常勤医	別府 幸岐												
ペインクリニック科	部 長	境 徹也	●		●		●		●		●		月～金午後は手術麻酔 受診等のお問合せは、直接外来までお電話下さい。	
病理診断科	顧問	井関 充及											細胞診断・病理組織診断全般	
歯科口腔外科	部 長	窪田 泰孝	●	※	●	※	●		●	※	●	※	歯科口腔外科、インプラント、顎顔面外傷、口腔腫瘍、顎関節症	
	医 員	藤永 貴大	●	※	●	※	●		●	※	●	※	菌性感染症など（※は予約患者のみの診察になります）	
	〃	濱田 雄太	●	※	●	※	●		●	※	●	※		
健診センター	健診センター長	佐藤 浩信	※お申し込み・お問い合わせは、健診センターまでお電話下さい。健診センター直通電話 0956-22-6155											
	医 長	原 敬一												